

第4章

学ぶ意欲を高める校内研修

学ぶ意欲に関する校内研修の4つのプログラムを紹介します。

この章の校内研修プログラムを学校において実施する際は、センター職員が研修の実際を支援することができますので、下記までお問い合わせください。

栃木県総合教育センター 研究調査部 TEL028-665-7204

プログラム1 学ぶ意欲に関する課題の把握

研修の計画

■ 研修のねらい

「学習に関するアンケート」の結果を分析し、学校、学年、学級の学ぶ意欲の実態を把握し、学ぶ意欲を高めるための重点目標を設定する。

■ 方法・形態 グループ協議

- 事前準備 リーフレット「学ぶ意欲をはぐくむ」を読む。
「学習に関するアンケート」を実施する。

■ 展 開

内容	時間	概要及び留意点	資料
1 学ぶ意欲のプロセスの理解	15分	・学ぶ意欲のプロセスについての説明を読み（講師、学習指導主任から聞き）構成要素について共通理解を図る。	・本冊子 (p 4～5)
2 「学習に関するアンケート」の学校全体の結果を分析	15分	①学校全体のデータを見て、傾向を把握する。 ②日頃の観察からの認識と合致する点、相違点などについて話合う。 ③学ぶ意欲を高めるための学校としての重点目標を一つ設定し、ワークシートに記入する。	・「学習に関するアンケート」結果 ・ワークシート
3 「学習に関するアンケート」の学年・学級の結果を分析 (学年を中心としたグループ)	15分	①学年のデータから、学年の傾向を話し合い、重点目標や手立てを決めて、ワークシートに記入する。 ②学級のデータから、学級の実態を把握し、どの構成要素を中心に伸ばしていくか、また、その手立てを話し合う。	・「学習に関するアンケート」結果 ・ワークシート
4 情報交換	10分	・各学年の傾向と重点目標を発表し合い、共通理解を図る。	
5 振り返り	5分	・アンケートの結果に対する感想や今後の学習指導に生かしたいことをカードに書いたり話し合ったりする。	・振り返りカード

■ 評 価

自校の子どもの学習意欲に関する課題を共有し、目標や重点的に働きかける構成要素について、考えることができたか。

研修の進め方

強みと弱みを書き出す

「学習に関するアンケート」の結果から、右図のようなワークシートを用いて、学校、学年、学級の課題を把握し、重点目標を設定します。

学校全体のデータ分析は、全体会で行い、課題の共有化を図ります。学校の傾向を踏まえて、学年を中心としたブロックで、学年と学級の分析を行い、ワークシートに重点目標を記入します。

学級担任以外の教師も、関わりのある学年のグループで話し合います。

中学校では、教科担任制であるため、ワークシートを共有することが大切です。

【ワークシートの例】

「学習に関するアンケート」の分析（1年）

1 学校全体の重点目標

意見を言える雰囲気をつくる→安心して学べる環境

2 学年の傾向

【強み】 有能さへの欲求、 向社会的欲求	【弱み】 安心して学べる環境、 独立達成、有能感
-----------------------------------	---------------------------------------

3 学年と学級の重点目標

・生徒に受容的態度で接し、よさをほめる。
 ・スモールステップで達成感を味わわせる。

1組	2組
3組	4組

教師の振り返り（例）

- ・日頃の観察による認識と、ほぼ合致していました。授業を工夫して、課題解決を図りたいと思います。
- ・多くの構成要素があることを知ったので、意図的に働きかけをしたいと思います。
- ・後でゆっくり、個人のデータも見て、指導に役立てたいと思います。

留意点・工夫

- 重点目標を掲げて、授業のしかけや子どもへの言葉かけを工夫し、数ヶ月後に再度アンケートを実施すれば、実践の効果を検証するのに役立ちます。
- 次年度の学習に関する学校課題を設定する際に、2学期以降の第2回目のアンケート結果を参考資料とすることも考えられます。

参考

- ・「学習に関するアンケート」とデータ入力フォーム及びリーフレット「学ぶ意欲をはぐくむ」は、栃木県総合教育センターのホームページに掲載していますので、ご活用ください。

<http://www.tochigi-edu.ed.jp/center/cyosa/leaflet/ichiran.htm>